

令和 2 年度

学校評価まとめ

学校目標

令和2年度石見養護学校経営プラン

自立
(自分のため)

協働
(いっしょに)

貢献
(人のため)

★学校・児童生徒・教職員がそれぞれの立場で「自立」「協働」「貢献」をめざします

自立とは、自分で考え、積極的に行動すること

協働とは、目標を共有し、共に力を合わせて活動すること

貢献とは、自分以外のために役に立つよう力を尽くすこと

Plan

めざす児童生徒の具体的な姿（教育目標）

- ◇夢や目標をもち、粘り強く挑戦し続ける児童生徒
- ◇思考し、他者に伝え、共に学び合おうとする児童生徒
- ◇礼儀正しく、思いやりのある児童生徒

めざす学校の具体的な姿

- ◇明るいあいさつと温かいことが響き合う学校
- ◇保護者・地域と連携・協力して、教育効果を高め合う学校
- ◇健康で安全・安心に生活できる学校

学
び
の
図

めざす教職員の具体的な姿

- ◇授業を大切にし、課題意識をもち研究・修養に努める教師
- ◇確かな人権感覚をもち、豊かな人間性あふれる教師
- ◇組織の一員として共に考え、よりよくしようと行動する教師

Do

教育方針

夢を育み、未来を生き抜く力を育てる

- 1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意思と態度を育てる。
- 2 教育活動全体を通じて、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる。
- 3 「ひと・もの・こと」の出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる。

運営方針（重点目標と具体的方策）

- 1 学びの積み上げを大切にし、これからの時代に必要な資質・能力を育てる。
 - 学びの図の活用
 - キャリア教育の充実
 - 対話的学び合いを通して、考えを深めたり、伝えたりする学びの土壌づくり
 - 人とのつながりを大切にしたい地域活用体験型学習の推進
 - 授業を介した地域貢献活動の取組の充実
- 2 特別支援教育の専門性を高め、児童生徒一人一人に応じた指導に努める。
 - 自立活動の内容の充実
 - 研究授業と研究協議の活性化
 - 校内研究・研修の充実
 - 児童生徒理解のための技能向上
 - OJTの組織づくりと活用
 - 個別の支援計画・個別の指導計画の見直し
- 3 安全で安心して学校生活を送れる教育環境の整備に努める。
 - 人権・同和教育(教職員、児童生徒の人権感覚を高める実践)
 - いじめ防止(児童生徒教職員の意識改革)
 - 防災・防犯・安全教育の推進
 - 健康教育及び性に関する指導の充実
 - ふるまい(あいさつ 言葉遣い)の向上
 - 規範意識の向上
 - 学校裁量予算の円滑な執行(無駄をなくす、節約の意識)
- 4 保護者・地域との連携・協力及び地域への障がいの理解の推進を図る。
 - HP、マスメディアを活動した情報発信
 - 四ツ葉の里との連携
 - 障がいの理解推進活動の充実
 - 町内各機関(役場、企業、公民館、福祉施設、高齢者施設など)との連携
 - PTA活動の充実
- 5 学習指導要領を理解し、教育課程の編成や授業改善に取り組む。
 - カリキュラム・マネジメントによる評価・改善の方法と時期の検討
 - 教育課程の見直し
 - キャリアパスポートの作成
 - 授業改善の推進
 - 主権者教育の推進
 - 道徳教育の推進
 - ICTの活用

令和2年度 学部・寄宿舎重点目標 年度末総括

1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意思と態度を育てる。

B …一定の成果が出ている。

主体性を引き出すような場面や題材の設定を続けていくとともに「課題への気づき→自身の目標設定→実行→振り返り→課題や目標の修正…」といった学習のサイクルを意識して今後とも取組を進めていきたい。

(今後の方向性 児童生徒アンケートから)

小：情緒面の安定のための継続的な支援、関心や意欲を高めるための題材設定の継続的な工夫

中：自己理解の深化、実態に即した授業の一層の追求

高：自己理解の深化、主体性を引き出す学習展開の工夫

舎：主体的に生活をしていこうとする意識の高揚

2 教育活動全体を通じて、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる。

B …一定の成果が出ている。

今後も継続的に学習活動や生活指導の中で意図的に話し合い活動を取り入れていく必要がある。また、学年や発達段階に応じて話し合い活動のルールやマナー面に関しても提示していくことでより充実を図っていきたい。

(今後の方向性 児童生徒アンケートから)

高：コミュニケーション力の向上

舎：思いを伝え合う場の確保

3 「ひと・もの・こと」の出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる。

B …一定の成果が出ている。

コロナ禍の中、いろいろと工夫をしながら取り組みを進めていくことができたと感じる。今後も互いを認めあう機会を設定していくことで児童生徒の自尊感情を高めていくとともに、他者との関わり場面を経験させていくことで思いやりや豊かな感性を継続的に育成していきたい。

(今後の方向性 児童生徒アンケートから)

高・舎：様々な人との協働経験

○ 人権・同和教育

1 多様な見方、考え方ができる力や態度を育む。

2 自他共に尊重しながらかわろうとする態度を育む。

C …一定の成果もあるが、方法の見直しも必要。

啓発を意図した校内への情報発信については、有効に行われていたと感じる。実践の雰囲気高めるためには、授業づくりでの助言だけでなく推進委員会のメンバーを活用した組織的な働きかけが必要である。

(今後の方向性 保護者アンケートから)

人権・同和教育の取組についての家庭への情報発信

評価基準に沿った達成状況

A=達成9割以上

B=7割以上9割未満

令和2年度 分掌業務重点目標 年度末反省総括

1 学びの積み上げを大切にし、これからの時代に必要な資質・能力を育てる。

B …一定の成果が出ている。

学びの図を基底において、教育活動を進めていくことができた。単元内容系統表やキャリア教育全体計画、単元系統表・単元シートなどの基盤整備については着実に行われている。日常の業務の中でいかに活用していくかということが今後の課題である。

2 特別支援教育の専門性を高め、児童生徒一人一人に応じた指導を行う。

B …一定の成果が出ている。

各分掌等からそれぞれの専門性を生かした取組が実施され、専門性向上の基盤づくりをすることができた。今後、児童生徒一人一人に応じた指導につながっているか検証をしていく必要がある。

3 安全で安心して学校生活を送れる教育環境の整備に努める。

B …一定の成果が出ている。

安全安心な学校生活をめざして、各分掌部から情報発信が行われており、教職員の意識高揚につながっている。児童生徒の安心感につながっているかという点については、今後検証が必要であり、取組の改善が必要な部分があると感じる。

4 保護者・地域との連携・協力及び地域への障がいの理解の推進を図る。

B …一定の成果が出ている。

コロナ禍ということもあり、取組の実施が難しかった面もあった。今後もHPを積極的に活用して情報発信をしたり、地域の求めに従って出前授業を継続的に実施したりしながら、地道に理解推進を図っていく必要がある。

(今後の方向性 保護者アンケートから)

図書館教育についての家庭への情報発信

5 学習指導要領を理解し、教育課程の編成や授業改善に取り組む。

C …一定の成果もあるが、課題もある

授業改善等については、各方面で進めることができた。今後、児童生徒についた力の検証が必要になる。教育課程の編成については、改めて検討組織を明確にするとともに検討のポイントを明確にする必要がある。

評価基準に沿った達成状況
A=達成9割以上
B=7割以上9割未満
C=5割以上7割未満

教育方針

- 1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意思と態度を育てる。
- 2 教育活動全体を通じて、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる。
- 3 「ひと・もの・こと」の出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる。

評価基準に沿った達成状況
A＝達成9割以上、B＝7割以上9割未満、C＝5割以上7割未満、D＝5割未満

学部等	重点目標	具体的方策（手立て）	達成年度	R2年度 ○評価指標及び★基準	評価者	評価方法	年度末評価	進捗状況と今後の展望
教育方針1	小・中学部 自分の目標をもち、それに向かって最後までやりぬく力をつける。	・子どもが意欲をもって取り組んだり、達成感を味わえたりすることができ課題を設定する。 ・月目標や単元目標等を立て、学期の節目に振り返る機会を設定する。	R2	○題材を適切に設定することができたか。★実績 ○目標立てと振り返りを行うことができたか。★実績	学部全体	年間指導計画 目標シート 振り返りシート	B	・児童・生徒の実態や子ども自身から出てきたニーズをもとに学習内容を設定したことで、最後までやりぬく力をつけることができた。 ・教師と一緒に考えることで月目標を設定した。 ・学習内容によっては、自分の学習のめあてをもつことができた。 ・ふりがえりが十分にできないときがあった。 一めあてを板書したり、授業の様子を写した写真を用いたりして、ふりがえることができるようにしていく。
	高等部 生徒自身がなりたい自分を意識して自己の目標を決定し、自分でやりとげていく力をつける。	・具体的に続けてできる目標を立て、1週間毎に学級で振り返ることによって養育力をつける。学期毎の取組を学級で発表する。	R2	○目標決めと振り返りを行う。教員はうまくいかなかったことを受け止め乗り越える方法を一緒に考える相談を行う。★実績80％	担任	実績（結果がわかるよう実態に合ったプリントやワークシートを作成）	A	・手立てを考え、取組につながったが、養育力をつけるための指導には課題がある。また、目標に向かい合うことに困難な状況の生徒への指導については今後検討していく必要がある。
	寄宿舎 集団生活での自分の課題に気づき、自分から克服しようと取り組む力を育む。	・学校担任と相談した上で生活支援計画を作成し、課題を自分のこととして気付いたり、克服したりできるように働きかけをする。	R2	○生徒が自分の課題に気付いたり、課題を克服するために取り組んだりしたか。★年2回	寄宿舎指導員 舎生	アンケート	C	・2学期に舎生・指導員にアンケート実施。3学期は今後実施する予定。 ・自分の課題に気づき、克服しよう取り組む舎生が大半。 ・舎生の自主的な行動につながる支援方法を検討していく。

教育方針2	小・中学部 自分で考えたり、自分の思いを伝えたりしながら、共に考え学び合う力をつける。	・自己選択、自己決定の場面を多く取り入れる。 ・互いの意見を理解したり、比較したりしやすいように、視覚的に提示する。	R2	○自己選択、自己決定し自分の思いを伝える機会を設定することができたか。★実績 ○互いの意見を理解したり、比較したりしやすいように、視覚的な支援を行ったか。★実績	学部全体	学習において選択、決定した場面を記録する学習ワークシート	B	・学級だけでなく実態に応じて学習グループを組むことで、児童・生徒が自分で考え、思いを伝えようとするようにした。 ・選択肢を用意したり、必要感のある事柄について話し合ったりすることで、自分で考えたり、自分の思いを伝えたりする姿を引き出すことができた。 ・話し合い活動を通して、自分と異なる意見に出会ったときの折り合い付け方を経験する機会を設定した。
	高等部 自分の気持ちと向き合い、自分の気持ちを周囲へ伝え、やりとりしながら、よりよい方法を考えることができる力をつける。	・実態に合わせて、自分で考える時間、意見を出し合う時間をとってよりよい方法を見いだすようにする。	R3	○学級や学年、学部で話し合いの時間をとることを心がけたか。★実績80％	担任	実績（場面を設定）	B	・学部全体での学習等、各クラスや面談、活動後の振り返り、「みちしるべ」の記入等を通して自分を見つめる活動はしている。周囲と話し合う機会を意識してつづけていった。その中でよりよい方法が見つにくい生徒もいた。生徒の実態把握を行い指導方針を考え教員で共通理解し指導にあたるようにしていきたい。
	寄宿舎 自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを受け入れたりする力を育む。	・舎生会・課会等の活動を通して、意見をやりとりする場面を設定する。	R2	○生徒が自分から思いを伝えたり、自分とは違う考えを受け入れたりすることができたか。★年2回	寄宿舎指導員 舎生	アンケート	C	・2学期に舎生・指導員にアンケート実施。3学期は今後実施する予定。 ・話し合いの場面で、自分の気持ちや意見を言える舎生が大半。 ・他人の気持ちや意見を受け入れることができる舎生は若干名で、まだまだ難しい舎生が多い。今後も話し合いの場面を設けていきたい。

教育方針3	小・中学部 友達や周りの人の思いを受け止めたり、認め合ったりすることを通して、相手のことを大切にしようとする力をつける。	・日々の授業の中で、友達のがんばっているところや良かったところを伝え合う時間を設ける。	R2	○日々の授業の中で頑張っているところや良いところを伝え合うことができたか。★実績	学部全体	発言や思いを記録する	A	・学級だけでなく学部全員で学習することで、年下の子どもを大切にしようとする心を育てることにつなげた。 ・教師自身が子どものがんばりを認めたり、友だちを称賛する発言を他の子どもたちにも分かるように伝えたりする等、子どもが認められたと感じられるような働きかけを意識的に行ったことで、「褒められた」「認められた」と感じられるようにした。 ・言葉で伝えることが難しい児童・生徒については、学習の中で完成した制作物を鑑賞する時間を設定することで、お互いのがんばりを感じられるようにした。
	高等部 多くの出会いを体験し、周囲の人の思いを理解しようとする力をつける。	・学校内外で体験的な学習を行い、人の「良さ」「感謝」「思い」について意識を向ける場面を設定する。	R4	○場面を設定したか ★実績80％ ○体験的な学習の中で、「○○さんの良さ」「相手への感謝」についての言葉が聞かれたか。 ★教員が観察	担任	実績 観察	B	・2学期以降「IWAMIマルシェ」での販売や現場実習の実施、交流学習、各クラスの取組等の中で人とのふれあいの良さを実感する声が多く聞かれた。全員取り組めていないので今後生徒全員が参加できるように工夫したり、身近な人の思いを理解する力をつける工夫したりする必要を感じた。
	寄宿舎 挨拶や気持ちのよい関わりなど、集団生活に必要な基本的なふるまいを育む。	・日々の生活指導に加え、定期的に人権教育学習会や食事マナー学習会、避難訓練等を行う。	R2	○定期的に学習会や避難訓練等を行うことができたか。★実績	舎務部長 実績		B	・避難訓練、情報、食育等の学習会を定期的に実施。 ・人権・同和教育の取り組みであるキラボックスを継続して取り組み、友達を助けた場面や頑張っている姿を認めあえる機会となっている。

人権・同和教育	1 多様な見方、考え方ができる力や態度を育む。	○人権に関する知的理解を進める情報の発信に努める。 ・人権に関する情報の回覧や通信の発行。 ・人権週間に向けての啓発活動	R2	○教職員、保護者への人権・同和教育通信の発行 ★3回 ○人権週間に向けて意識を高める呼びかけ ★実施したか	教職員	実績	B	・人権・同和教育通信の発行は現在1回のみである。 ・人権週間には、職員室前に様々な人権に関する掲示、資料の展示を行った。職員朝礼での連絡は1回のみであったが、生徒の目につきやすい場所に掲示したのは良かった。 ・今後も情報の発信と人権週間での展示を通して啓発をしていく。
	2 自己共に尊重しながらかわらうとする態度を育む。	○人権感覚を養うよりよい実践になるよう雰囲気を高めていく。	R2	○公開授業の指導案検討や各学級の目標に合った授業づくりへの助言を行う。 ★実施したか	人権・同和教育推進委員会	実績	C	・各学部・学級、分掌では日常の中でそれぞれに取り組んでいることを確認した。しかし、具体的な期間や方法を設定していなかったため、取組についての情報が伝わらず、推進委員からの助言は行っていない。 ・推進委員会の開催を来年度の行事予定に位置づけ、定期開催を目指す。推進委員会が取組を促したり、共有したりすることで実践を広める。

令和2年度 分掌業務重点目標

石見養護学校

重点目標

- 1 学びの積み上げを大切に。これからの時代に必要な資質・能力を育てる。
- 2 特別支援教育の専門性を高め、児童生徒一人一人に応じた指導を行う。
- 3 安全で安心して学校生活が送れる教育環境の整備に努める。
- 4 保護者・地域との連携・協力及び地域への誇りがいの理解の推進を図る。
- 5 学習指導要領を理解し、教育課程の編成や授業改善に取組む。

評価基準に沿った達成状況

A＝達成9割以上、B＝7割以上9割未満、C＝5割以上7割未満、D＝5割未満

項目	行動目標	具体的方策（手立て）	達成率	R2年度 ○評価指標及び★規準	担当部署	評価者	評価方法	中間評価	進捗状況と今後の展望
重点1 学びの 図活用 キャリア 学びの 土壌	小中高の生活単元学習における系統性を明確にし、単元内容系統表を作成する。	・研究G会、教育課程検討委員会、学部会等を活用しながら学びのつながりを整理する。	R2	○単元内容系統表を作成できたか ★実施可否	教務	教職員	実績	B	・1学期に全教職員で協力して単元内容系統表の作成をすることができ、本校の学びのつながりを可視化することができた。学びの図に沿ったものとなった。 ・研究で活用していたことで、合わせた指導における指導の根拠について意識を高めることができた。 ・今後、学習等の追加改善をしていき、来年度の教務の手引きに入れる。年間指導計画を立てる際に参考にさせていただきたい。
	校内研究を通して学びの図と関連した総括の評価を行う。	・単元構成表と単元評価シートを元に学びの図との関連を図った学習目標と評価を行う。	R3	○研究の取組の成果が学びの図の育てたい資質・能力につながる児童生徒の変容が見られたか ★70%以上	研究	研究 校内研究 部活動 学級	アンケート	B	・校内研究において、単元構成シートや単元のまとめワークシートを活用して、「学びの図」の育成したい資質能力（各学年段階でつづいた）に沿った単元設定で実践が行われた。 ・単元を含めた総括の評価は現在、各学級でまとめているところである。 ・教育課程後期評価のアンケートによると「学びの図」と関連した授業実践約70%の実施。80%以上の児童生徒の変容という結果。今後も研究実践を継続し定着を図る。
	小学部からの高等部までの社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育成する	・キャリア教育全体計画を改訂する。	R2	○キャリア教育全体計画の改訂版提示 ★実施可否	進路指導	教職員	実績	A	○5月の職員会議で教職員に向けてR2キャリア教育全体計画（改訂版）を周知した。学校目標から本校のキャリア教育の目標を掲げ、各学部の目標を段階的に設定して、小学部からの高等部までの社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育成できるよう作成した。
	いろいろな人の意見を聞いたり、自分から考えを伝えたりしながら、折り合いをつけたり、みんなでアイデアをまとめたりできる力を育てる。	・全校レクの実施 ・行事前の縦割り活動の実施 ・身近な課題について考えを深めたり、話し合いがもてたりできるような学習場面の設定（例：ディベート、自己選択、自己決定等）	R2	○全校レクの実施回数 ★年2回 ○行事前の縦割り活動の実施回数 ★年1回以上 ○学習の場面設定ができたか。★実施可否	子ども教職員	子ども教職員	実績	B	・全校レクは予定通り実施済み。 ・もりもり祭の準備（スローガン看板、めくり、立て看板、くす玉作成）を全校縦割りのグループで実施した。 ・縦割りグループでポッチャや新聞ゲームを行い上級生から声をかけて順番を決めたり、行事の準備では、よりよい物ができるように話し合ったりする姿が見られた。
重点2 児童生徒 理解 研修の 充実 OJIT	よりよい支援や授業改善、教職員の負担軽減も含めた個別的教育支援計画、個別の指導計画、年間指導計画、自立活動の指導計画を見直す。	・教職員にニーズを把握し、教育課程検討委員会、学部会等を活用しながら検討する。	R3	○よりよい様式を作成できたか ★実施可否	教務	教職員	実績	B	・R4年度から県内の特別支援学校で校務支援システムを使用して各種様式を作成することとなった。R3年度のみ本校オリジナルの様式を使っていく。教職員の負担軽減も考慮し様式をワイヤーチェンジし、3月までに職員会で周知する。 ・年間指導計画、個別の指導計画のコピー負担については、業務アシスタントに依頼しソフトを使用して解消できる予定である。ソフトが使用できるか果に申請中である。
	授業力向上および生徒理解に関する研修会の企画する	・授業公開と指導助言を含めた研修会を行う。	R3	○参加者が研修内容が参考になったと感じた割合 ★70%	研究	教職員	アンケート	B	・研修会のアンケートではおおむね良いという意見が多かった。 ・アンケートの回収や集計の効率化のためQRコードを活用したが思った以上の回収率に至らなかったため、改善や検討が必要。
	児童生徒の内面や発達を理解をより深められるように各学部等と連携しながら支援の共通理解を図り、児童生徒一人一人に応じた指導を行う。	・児童生徒への教育相談週間の実施 ・児童生徒の内面の理解への教員の意識づけ（教員からの積極的な言葉かけを生徒会の挨拶運動期間に併せて実施） ・研修会の実施（研修部共催含む）	R2	○教育相談週間の実施回数 ★1回 ○教育相談週間の実施状況 ★実施可否 ○挨拶運動期間の実施回数 ★毎月2回 ○研修会の実施 ★年3回以上	子ども教職員	子ども教職員	実績	B	・相談ボックスに4件の相談があったため、教育相談週間は実施しなかった。思いを発信しにくい児童生徒もいると考えられるため、3学期に児童生徒向けに相談に関するアンケートを実施し、希望者と面談をする予定。 ・執行部の生徒は計画的にあいさつ運動を実施していたが、教員が参加していない時があり、声かけが十分ではなかった。 ・計画通り研修会を実施することができた。
	就労や福祉サービス、支援機関等についての研修の充実を図る	・進路研修会（フィールドワークを含む）の実施	R2	○進路研修会の開催 ★単行研修1回、職員会議Ⅱ2回 ○フィールドワークの実施（実習先開拓への同伴等） ★夏期休業中に数日間実施	進路指導	教職員	実績	B	・進路研修会の開催は、新型コロナウイルス感染症により日程調整が難しかったため、職員会議や学部会、各学級に向けて必要な情報等を周知した。また各学級等のニーズを把握しながら、職員会議や学部会、各学級に向けて必要な情報を伝えていくことができた。 ・フィールドワークの実施は、8月に「なないろ江津駅前」でのボランティア活動を実施し、8～9月に実習先開拓への同伴等を10名程度の教員が実施できた。
重点3 いじめ ふるまい・規範意識 防災教育	校内における人材育成の組織化	・チャレンジスキルアップの実施 ・一人1授業の実施 ・人材育成の組織作り	R2	○実施できたか ★実施可否	管理職	管理職	実績	B	・一人1授業については、実施することができた。 ・人材育成の組織については、原案は作成しており、年度末に提案予定である。
	児童生徒自身が安全や健康について、意識をもって生活できるような指導や支援の充実に努める。	・救急法講習会及び性に関する指導の実施 ・新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症や食中毒、熱中症の予防	R2	○救急法講習会の実施 ★教職員1回、生徒1回 ○性に関する指導の回数 ★年3回 ○保健に関する掲示 ★学期2回 ○保健便り ★毎月	保健	保健 担任 授業 担当	実績	B	・救急法講習会は、教員向けに夏期休業中に実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため、生徒向けは未実施。 ・性に関する指導は、養護教諭や保健部員が授業作りのために情報を提供したり、養護教諭が授業を行ったりして実施した。 ・保健に関する掲示を定期的に行うことができた。 ・保健便りを毎月発行した。 ・新型コロナウイルス感染症や熱中症等の予防のための対策を行った。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策について、呼びかけや対策グッズの準備等を行い予防に努める。
	校舎及び寄宿舎の光熱水費を削減する。	・執行状況の適宜把握及び教職員への協力呼びかけ	R2	○電気、水道、ガスの使用量★前年度と同水準（気候を考慮した上で）	事務	事務	実績	A	・「事務室つうしん」等による教職員への協力依頼、電気使用量のデマンド管理により光熱水費の削減を図った。 ・今年度のこれまでの使用量は、電気、水道、ガスとも前年度と同水準で推移している。 ・今後も、気候や新型コロナウイルス対策等の状況を踏まえながら、必要な節減対策を行っていききたい。
	児童生徒が安心して学校生活を送れる環境をつくる。	・必要に応じてケース会等を実施し、情報及び指導の共有を図る。 ・いじめアンケートの実施 ・児童生徒へのいじめ等の周知（学部集会等）	R2	○児童生徒の情報共有ができたか ★実施可否 ○いじめアンケートの実施 ★年3回以上 ○教職員研修の実施回数 ★年1回 ○児童生徒に周知できたか ★実施可否	子ども教職員 児童生徒	子ども教職員 児童生徒	実績	B	・必要に応じてケース会等を実施することはできたが、先生方への周知や共通理解、ケース会後の検証等が十分ではなかったことで、情報共有が不十分で対応が遅れているように感じられたことの一因である。 ・アンケートは予定通り実施済み。 ・教職員研修は実施済み。 ・いじめ等の周知は各学部会を中心に実施した。また、必要に応じて個別にいじめに関する指導を行った。
重点4 情報発信 通知表 理解啓発	児童生徒が災害時の安全を考えて行動するための防災教育の推進を図る。	・防災教育を推進するために ①避難訓練実施の工夫をする。 ②資料の提示や研修の実施する。 ③防災教育に関連する各教科等の内容提示 ④防災教育に関連する体験学習提示 ⑤総務部内外部講師による研修実施	R4	○避難訓練実施回数 ★2回 ○資料の提示 ★2回 ○研修の実施 ★2回	総務	総務	実績	A	・避難訓練では、訓練の前に事前の学習ができるよう時間を設定したことでの学級でも防災学習を行い、学習したことを訓練に活かすことができた。また、9月を防災月間とし、図書コーナーに防災グッズの紹介や書籍、資料を展示した。 ・今後は、防災教育に関連する体験型の学習の充実を考えていきたい。
	地域との連携及び本校の教育の理解を推進するためにHP等を活用した情報発信を行う。	・学校と受け取る側（保護者や地域等）のそれぞれのニーズに合わせた取組をするために、HP等の内容を分掌内で検討会（学期に1回程度）を行う。 ・HPを見る機会を増やすために、更新の際には学級だより等で保護者へ伝える。	R2	○更新回数 ★月1回 ○保護者のニーズを探るためのアンケート実施 ★年度初めに1回実施 ○各学年だよりやHPへの連絡情報掲載 ★アンケート後、学期に2回掲載	総務 進路指導	総務 進路指導	実績	B	・HPについては、各担当者で内容について協議し、ほぼ形を整えることができた。今後は、HPを使い、ニーズに合った情報発信を行ってきたい。 ・連絡情報については、前期（6月）に保護者のニーズを探るためのアンケートを実施した。アンケートの結果をもとに7月、10月、12月に学級だよりやHPに連絡情報を掲載したり必要に応じて懇談等で保護者へ回答したりして情報発信を行うことができた。
	保護者や子どもに分かりやすい通知表の見直しを行う。	・学校と家庭のニーズを把握し、教育課程検討委員会、学部会で検討する。	R3	○学校と家庭のニーズを探るアンケートを実施し、通知表を見直したか ★実施可否	教務	保護者	実績	C	・教職員、保護者にアンケートを実施し要望等を把握した。校務支援システムの導入があるため、R3年度については通知表の変更はない。
	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組の情報発信を行う。	・学部だよりやHPへの情報の掲載	R3	○各学部、寄宿舍、総務部と連携しながら、オリパラに向けた取組（アスリート交流、競技体験、障がい者理解、伝統文化体験、国際交流、地域活動への参加）の掲載。 ★年2回掲載	教務	教職員	実績	B	・学期毎に各学部、寄宿舍にはオリパラに向けた取組について確認し、HPに年1回掲載した。

重点5	発	交流及び共同学習や地域とかわりのある学習活動において、障がい理解につながる取組（出前授業等）を各担当教員が実施できるようにする。	・出前授業の題材提供 ・過去の実践例の紹介 ・教職員への周知（年度初め）	R2	○出前授業の題材提供ができたか ★実施可否 ○過去の実践例の紹介ができたか ★実施可否 ○職員会議Ⅱの実施回数 ★1回	子ども教職員	実績	A	・居住地交流や学校間交流引率教員向けに出前授業の教材提供を行った。 ・過去の実践事例や出前授業の内容について、夏季研修や回覧等で紹介と周知を行った。	
	教育課程見直し	特色あるコース制の取組を行う	・職業科の学習内容の改善策の試行	R3	○コース制を含め、特色ある教育課程の編成ができたか。 ★実施可否 ○外部講師活用研修の改題 ★研修を学期に2回設定	教務 進路指導	高等部 教務 進路指導	実績	C	・コース制の在り方や学習内容の改善案についてチーフ会で検討し、再整理していく。 ・9月、11月に高等部にて外部講師を招いての学習（接客指導）を2回実施できた。
		本校の特色を生かした教育課程の編成を行う。	・教職員や保護者の意見を参考に、教育課程検討委員会等で検討し、教育課程の編成に反映させる。	R3	○コース制を含め、特色ある教育課程の編成ができたか、学校評議員会の意見と教職員の意見で構造的意見 ★80％	教務	教職員	アンケート	D	・今年度は特色について整理していく予定にしていたができなかった。本校の特色を含め組織マネジメントをすすめていく校内体制を希望する。
	授業改善	新学習指導要領及び教育課程を根拠にした授業作りの推進	・教務部と連携した単元内容表の作成と研究用フォーマットを活用した授業の実施。	R2	研究グループによる単元構成と授業実践が行われたかどうか。★実施有無	研究	研究部 新学習指導要領委員会	授業研究 実践集録	B	・教務部と連携し、スケジュール通りに「単元内容系統表」を作成することができた。 ・校内研究推進のため単元構成シートを作成し、各グループ授業実践を行うことができた。 ・今後汎用性を高めていくことが課題。次年度も活用事例を増やしたい。 ・単元内容系統表の活用は学年・段階に示されている内容が該当の学校の趣意に合わない場合がある。活用する意義と活用の考え方を教務部とともに周知していきたい。
	主権者教育	体験等を通して、選挙のやり方や公職選挙法及び選出する考え方を知る機会を設ける。	・児童生徒会役員選挙の実施 ・選挙管理委員会の生徒選出及び運営 ・出前授業の実施（高2年対象）	R2	○児童生徒会役員選挙、選挙管理委員会の実施回数 ★選挙1回、委員会必要回数2回以上 ○出前授業の実施回数 ★年1回以上	子ども教職員	実績	B	・感染症対策をしながら児童生徒会役員選挙を予定どおり実施予定。 ・行事に変更が生じたため、未実施だが、実施のための準備はしている。	
	道徳教育	知的障がい特別支援学校における道徳教育の指導に対する教職員の資質能力の向上を図る。	・校内研修ならびに授業公開の実施。	R3	○研修会1回、学部毎の授業公開1回 ★実施可否 ○教職員の意識向上 ★80％	教務	教職員	アンケート	B	・夏季休業中に研修会を実施。2学期には学部毎に授業公開、振り返りを実施した。結果、見とシートが未提出の学校があるため引き続き集約していく。 ・アンケート結果：理解できた100％、年1回の研修が必要100％
	キャリアパス	キャリアパスポートの目的の理解と円滑な作成に向けて、進路指導部と連携しながら情報発信を行う。	・職員会や学部会等で周知する。 ・校内研修ならびに授業公開の実施。	R4	○教職員のキャリアパスポートへの理解が高まったか。 ★80％	進路指導 教務	教職員	アンケート	B	・職員会議や学部会を通して、基礎ファイルやキャリアパスポートについて周知した。その後、進路から教育目標を意識した目標の立て方や振り返りの仕方を提案するなどして取り組めた。年度末にアンケートを実施する予定。

令和2年度 学校評価（児童生徒アンケートから）

○小学部（3名中アンケート有効回答1名）

学校生活の課題

- ・おおむね安定して過ごしている。

重点目標の到達度

- 1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意思と態度を育てる。
 - ・おおむね良いと考えられる。
- 2 教育活動全体を通じて、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる。
 - ・おおむね良いと考えられる。
- 3 「ひと・もの・こと」の出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる。
 - ・おおむね良いと考えられる。

今後の取組

情緒面の安定のための継続的な支援

関心や意欲を高めるための題材設定の継続的な工夫

○中学部（4名中アンケート有効回答3名）

学校生活の課題

- ・本校に来て良かったという気持ちの低さ。
- ・学習が合っていないのではという思い。
- ・主体的な挨拶。
- ・図書館の利用しやすさ。

重点目標の到達度

- 1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意思と態度を育てる。
 - ・おおむね良いと考えられる。
- 2 教育活動全体を通じて、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる。
 - ・おおむね良いと考えられる。
- 3 「ひと・もの・こと」の出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる。
 - ・おおむね良いと考えられる。

今後の取組

自己理解の深化

実態に即した授業の一層の追求

図書館活用等の学習環境の整備

○高等部（31名中23名回答）

学校生活の課題

- ・本校に来て良かったという気持ちの低さ。
- ・学習が合っていないのではという思い。
- ・自己表現
- ・思いやり
- ・主体的な挨拶
- ・保健室や図書館の利用しやすさ

重点目標の到達度

- 1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意思と態度を育てる。
 - ・主体性に課題が見られる。
- 2 教育活動全体を通じて、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる。
 - ・場に応じた表現力に若干課題がある。
- 3 「ひと・もの・こと」の出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる。
 - ・課題が見られる。

今後の取組

自己理解の深化

主体性を引き出す学習展開の工夫

コミュニケーション力の向上

様々な人との協働経験

保健室や図書館の効果的な活用

○寄宿舍（13名中13名回答）

寄宿舍生活の課題

- ・生活の楽しさ
- ・生活目標を守ること
- ・友だちと協力をして活動すること
- ・自分の意見や考えを伝えること

今後の取組

主体的に生活をしていこうとする意識の高揚

様々な人との協働経験

思いを伝え合う場の確保

令和2年度 ねんどまつかっこうあんけーと 小学部3名 回収3名 回収率100%

【評価の仕方】（○：そうおもう ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください ）

	しつもん	○	×	?
1	がっこうは たのしいですか。	33.0%	0.0%	66.7%
2	すきな ベンキョウは なんですか。（○をしましょう）	国語、算数、生単、図工、音楽、 体育：全部33.3%、?66.7%		
3	（1がっきの） じぶんのもくひょうが まもれましたか。	33.0%	0.0%	66.7%
4	じどうせいとかいのかつどうで、みんなといっしょに たのしくか つどうできましたか。（ぜんこうレク）	33.0%	0.0%	66.7%
5	たのしかったことは なんですか。	33.0%	0.0	66.7%
6	いわみひがししょうがっこうとの こうりゅうは たのしかったで すか。	33.0%	0.0%	66.7%
7	おもったことを はっぴょうすることが できましたか。	33.0%	0.0%	66.7%
8	じぶんから あいさつができましたか。	33.0%	0.0%	66.7%
9	せんせいは あいさつをしていますか。	33.0%	0.0%	66.7%
10	ともだちと なかよくしていますか。	33.0%	0.0%	66.7%
11	こまったときに せんせいたちは はなしをきいてくれますか。	33.0%	0.0%	66.7%
12	けがやびょうきのとき ほけんしつは つかいやすいですか。	33.0%	0.0%	66.7%
13	としょかんで ほんを よむことは すきですか。	33.0%	0.0%	66.7%
いけん	□もっとこんなふうにしてほしいなとおもうこと、こまっていることなど、つたえたいことがあれば かきま しょう。			

令和^{れいわ}2年度 ^{ねんど}ねんどまつがっこうもくひょう 小学部3名 回収3名 回収率100%

「じりつ」「きょうどう」「こうけん」についてききます。

【評価^{ひょうか}の仕方^{しかた}】（○：そう^{おも}思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください ）

	しつもん	○	×	?
1	にがてなべんきょうもがんばりましたか。	33.0%	0.0%	66.7%
2	ともだちにじぶんのいけんをいうことができましたか。	33.0%	0.0%	66.7%
3	じぶんのきもちをせんせいにいうことができましたか。	33.0%	0.0%	66.7%
4	みんなとなかよくかつどうすることができましたか。	33.0%	0.0%	66.7%
5	ていねいなことばでおはなしができましたか。	33.0%	0.0%	66.7%
6	ともだちやおうちのひとにやさしくできましたか。	33.0%	0.0%	66.7%

令和2年度 年度末学校評価（生徒用） 中学部4名 回収4名 回収率100%

【評価の仕方】（○：そう思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください）

	評価項目	○	×	?
1	石見養護学校に来て良かったと思いますか。	50.0%	25.0%	25.0%
2	1学期、2学期の自分の目標が守れましたか。	75.0%	0.0%	25.0%
3	授業はわかりやすいですか。	50.0%	0.0%	50.0%
4	石見養護学校の勉強は、自分に合っていますか。	25.0%	25.0%	50.0%
5	勉強のときや休み時間に、自分の考えを伝えることができましたか。	75.0%	0.0%	25.0%
6	あなたは学校の決まりを守っていますか。	75.0%	0.0%	25.0%
7	現場実習（チャレンジ週間での職場体験体験学習）では、目標をもってがんばることができましたか。	75.0%	0.0%	25.0%
8	先生はだれもひいきすることなく、公平に接してくれますか。	50.0%	0.0%	50.0%
9	相手の気持ちを考えて、友だちとかかわることができましたか。	75.0%	0.0%	25.0%
10	自分からあいさつができましたか。	50.0%	25.0%	25.0%
11	先生たちはあいさつをしていますか。	75.0%	0.0%	25.0%
11	先生たちは悩みがあれば相談に乗ってくれますか。	75.0%	0.0%	25.0%
12	保健室は利用しやすいですか。	50.0%	0.0%	50.0%
13	図書館は利用しやすいですか。	50.0%	25.0%	25.0%
意見	口もっとこんなふうにしてほしいなとおもうこと、困っていることなど、伝えたいことがあれば、書いてください。			

令和2年度 年度末学校目標 中学部4名 回収4名 回収率100%

「自立」「協働」「貢献」について聞きます。

【評価の仕方】（○：そう思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください）

	評価項目	○	×	?
1	苦手なことや興味がないことでも最後まで学習に取り組めましたか。	50.0%	0.0%	50.0%
2	人の考えに流されず、自分で考えて行動することができましたか。	75.0%	0.0%	25.0%
3	自分の考えや気持ちを正しい方法で伝えることができましたか。	75.0%	0.0%	25.0%
4	様々な人と一緒に協力をして活動することができましたか。	75.0%	0.0%	25.0%
5	正しい言葉遣いで話すことができましたか。	75.0%	0.0%	25.0%
6	周りの人に（友だちや家族、先生など）に優しく接することができましたか。	75.0%	0.0%	25.0%

令和2年度 年度末学校評価（生徒用） 高等部31名 回収23名 回収率74.2%

【評価の仕方】（○：そう思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください ）

	評価項目	○	×	?
1	石見養護学校に来て良かったと思いますか。	69.6%	17.4%	13.0%
2	1学期、2学期の自分の目標が守れましたか。	78.3%	8.7%	13.0%
3	授業はわかりやすいですか。	82.6%	0.0%	17.4%
4	石見養護学校の勉強は、自分に合っていますか。	65.2%	17.4%	17.4%
5	勉強の時や休み時間に、自分の考えを伝えることができましたか。	56.5%	8.7%	34.8%
6	あなたは学校の決まりを守っていますか。	78.3%	8.7%	13.0%
7	現場実習（チャレンジ週間での職場体験体験学習）では、目標をもってがんばることができましたか。	73.9%	13.0%	13.0%
8	先生はだれもひいきすることなく、公平に接してくれますか。	73.9%	8.7%	17.4%
9	相手の気持ちを考えて、友だちとかかわることができましたか。	65.2%	4.3%	30.4%
10	自分からあいさつができましたか。	69.6%	13.0%	17.4%
11	先生たちはあいさつをしていますか。	73.9%	13.0%	13.0%
12	先生たちは悩みがあれば相談に乗ってくれますか。	73.9%	13.0%	13.0%
13	保健室は利用しやすいですか。	65.2%	8.7%	26.1%
14	図書館は利用しやすいですか。	69.6%	13.0%	17.4%
意見	口もっとこんなふうにしてほしいなどおもうこと、困っていることなど、伝えたいことがあれば、書いてください。 ・LINEのノートでのやりとりのこと。 ・ドリフ、志村けんのビデオや本。 ・図書館アニメ雑誌を置いてほしい。			

令和2年度 年度末学校目標 高等部31名 回収23名 回収率74.2%

「自立」「協働」「貢献」について聞きます。

【評価の仕方】（○：そう思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください ）

	評価項目	○	×	?
1	苦手なことや興味がないことでも最後まで学習に取り組みましたか。	78.3%	8.7%	13.0%
2	人の考えに流されず、自分で考えて行動することができましたか。	65.2%	13.0%	21.7%
3	自分の考えや気持ちを正しい方法で伝えることができましたか。	73.9%	4.3%	21.7%
4	様々な人と一緒に協力をして活動することができましたか。	73.9%	8.7%	17.4%
5	正しい言葉遣いで話すことができましたか。	69.6%	4.3%	26.1%
6	周りの人に（友だちや家族、先生など）に優しく接することができましたか。	60.9%	8.7%	30.4%

令和2年度 年度末学校評価（寄宿舍生徒用） 実質在籍13名 回収13名 回収率100%

【評価の仕方】（○：そう思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください）

	評価項目	○	×	?
1	寄宿舍の生活は楽しいですか。	46.2%	15.4%	38.5%
2	寄宿舍では、自分が決めた生活の目標を守れていますか。	69.2%	15.4%	15.4%
3	寄宿舍の決まりを守っていますか。	100.0%	0.0%	0.0%
4	寄宿舍では、友だちと仲良く生活していますか。	76.9%	7.7%	15.4%
5	舎生会活動で意見を言ったり協力したりして、いろいろな友だちと活動することができましたか。	69.2%	7.7%	23.1%
6	自分の意見や考えを先生や友だちに言えましたか。	53.8%	23.1%	23.1%
7	寄宿舍であいさつができましたか。	84.6%	15.4%	0.0%
8	先生たちはあいさつをしますか。	84.6%	7.7%	7.7%
9	舎食はおいしくて食べやすいですか。	92.3%	7.7%	0.0%
10	寄宿舍の先生は悩みや話を聞いてくれますか。	76.9%	0.0%	23.1%
11	寄宿舍の先生はわかりやすく教えてくれたり助けてくれたりしますか	76.9%	7.7%	15.4%
12	怪我、病気の時、対応してもらっていますか。	92.3%	7.7%	0.0%
意見	口もっとこんなふうにしてほしいなとおもうこと、困っていることなど、伝えたいことがあれば、書いてください。 ・近くに自販機がほしい ・BS・ケーブルが見られるようにしてほしい			

令和2年度 学校評価アンケート集計（保護者用）

【評価の観点】（ A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない E：分からない ）
あてはまるものに○をしてください

学校 目標	質 問		A	B	C	D	E	無回答
自立（自分のため） 協働（いっしょに） 貢献（人のため）	1	お子さんを本校に進学させてよかったと思いますか。	23	2	0	0	2	8
	2	本校は学校目標や、重点目標、個別の指導計画等をはっきり示していますか。	19	8	0	0	0	8
	3	たより、連絡帳、通知表、懇談等で、学校の様子をわかりやすく伝えていますか。	19	8	0	0	0	8
	4	現場実習（チャレンジ週間）等、進路に関する必要な情報が、お子さんや保護者に確実に伝わったと思いますか。	17	9	0	0	1	8
	5	本校の学習指導のあり方は適切だと思いますか。	19	7	0	0	1	8
	6	本校の生徒指導のあり方は適切だと思いますか。	17	9	1	0	0	8
	7	本校は人権・同和教育の推進に努めていると思いますか。	16	8	0	0	3	8
	8	地域に積極的に出かけたり、学習の題材として地域のことを取り入れた学習を実施したりすることが、できていると思いますか。	20	7	0	0	0	8
	9	教職員はあいさつができていますか。	22	4	0	0	0	9
	10	お子さんは自分の思いや考えを、周囲へ伝えることができていますか。	7	14	6	0	0	8
	11	教職員は、お子さんや保護者さんの思いをしっかりと聞いていると思いますか。	20	7	0	0	0	8
	12	図書館利用の取り組みの様子が伝わっていますか。	10	9	5	0	3	8
	13	お子さんの怪我、病気等の緊急時に、学校の対応は適切になされていますか。	18	9	0	0	0	8
	14	安全で安心できる学校になっていますか。	19	8	0	0	0	8
	15	お子さんが将来に向けて、自立する力を育む学習になっていますか。	18	8	0	0	1	8
	16	校内、保護者、地域、関係機関との連携・協力はなされていますか。	20	5	1	0	1	8
意見欄	☐ 疑問点、意見・要望等 ・事前にわかっている行事等は1ヶ月以上前から連絡をしてほしい。 ・学校所在地域だけでなく、本人の居住地の連携にも力を入れてほしい。 ・子どもの話を聞いてもらい安心している。 ・自分の考えを持つ、出すということに自信が持てる機会が増えると良い。 ・丁寧な日頃の連絡帳での連絡や緊急時の素早い連絡があり助かった。 ・現場実習の際に進路担当や担任に何度も来てもらい感謝している。							

学校 目標	質 問		肯定的	否定的	わからない
自立（自分のため） 協働（いっしょに） 貢献（人のため）	1	お子さんを本校に進学させてよかったと思いますか。	71.4%	0.0%	28.6%
	2	本校は学校目標や、重点目標、個別の指導計画等をはっきり示していますか。	77.1%	0.0%	22.9%
	3	たより、連絡帳、通知表、懇談等で、学校の様子をわかりやすく伝えていますか。	77.1%	0.0%	22.9%
	4	現場実習（チャレンジ週間）等、進路に関する必要な情報が、お子さんや保護者に確実に伝わったと思いますか。	74.3%	0.0%	25.7%
	5	本校の学習指導のあり方は適切だと思いますか。	74.3%	0.0%	25.7%
	6	本校の生徒指導のあり方は適切だと思いますか。	74.3%	2.9%	22.9%
	7	<u>本校は人権・同和教育の推進に努めていると思いますか。</u>	<u>68.6%</u>	<u>0.0%</u>	<u>31.4%</u>
	8	地域に積極的に出かけたり、学習の題材として地域のことを取り入れた学習を実施したりすることが、できていると思いますか。	77.1%	0.0%	22.9%
	9	教職員はあいさつができていますか。	74.3%	0.0%	25.7%
	10	<u>お子さんは自分の思いや考えを、周囲へ伝えることができていますか。</u>	<u>60.0%</u>	<u>17.1%</u>	<u>22.9%</u>
	11	教職員は、お子さんや保護者さんの思いをしっかり聞いていると思いますか。	77.1%	0.0%	22.9%
	12	<u>図書館利用の取り組みの様子が伝わっていますか。</u>	<u>54.3%</u>	<u>14.3%</u>	<u>31.4%</u>
	13	お子さんの怪我、病気等の緊急時に、学校の対応は適切になされていますか。	77.1%	0.0%	22.9%
	14	安全で安心できる学校になっていますか。	77.1%	0.0%	22.9%
	15	お子さんが将来に向けて、自立する力を育む学習になっていますか。	74.3%	0.0%	25.7%
	16	校内、保護者、地域、関係機関との連携・協力はなされていますか。	71.4%	2.9%	25.7%
意見欄	・迅速な家庭連絡と行事の事前連絡 ・児童生徒の出身地域との連携				

令和2年度 学校評価（寄宿舍保護者用）

【評価の観点】（ A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない E：分からない ）
あてはまるものに○をしてください

学校 目標	質 問		A	B	C	D	E	無回答
自立（自分のため） 協働（いっしょに） 貢献（人のため）	1	お子さんを寄宿舍に入舍させてよかったと思いますか。	10	1	0	0	0	2
	2	お子さんは寄宿舍での生活に充実感や満足感をもっていると思いますか。	7	3	1	0	0	2
	3	寄宿舍は生活目標や指導計画をはっきり示していますか。	10	1	0	0	0	2
	4	通信、連絡帳、懇談等で寄宿舍での様子やお子さんの成長の様子が伝わっていますか。	8	3	0	0	0	2
	5	お子さんの進路や将来に関わる、生活に必要な情報が伝わっていますか。	6	5	0	0	0	2
	6	寄宿舍の生活、児童生徒指導のあり方は適切だと思いますか。	7	3	0	0	1	2
	7	寄宿舍は人権・同和教育の推進に努めていると思いますか。	5	4	1	0	1	2
	8	行事等で、寄宿舍全体で協力して活動を実施していると思いますか。	9	1	0	0	1	2
	9	お子さんは自分の思いや考えを、周囲へ伝えることができますか。	3	7	1	0	0	2
	10	教職員は、お子さんや保護者さんの思いをしっかり聞いていますか。	6	5	0	0	0	2
	11	お子さんは舍食をおいしく食べていると思いますか。	8	2	1	0	0	2
	12	お子さんの怪我、病気等の緊急時に、寄宿舍の対応は適切になされていますか。	8	3	0	0	0	2
	13	教職員はあいさつができていますか。	9	2	0	0	0	2
意見欄	☐ 疑問点、意見・要望等 ・ありがとうございます。 ・日曜開舎がありがたい。 ・連絡帳・保護者会で様子がわかり助かる。 ・子どもの成長に目を向けてもらいうれしい。 ・子どもの課題解決と一緒に取り組んでくれてありがたい。							

学校 目標	質 問		肯定的	否定的	わからない
自立（自分のため） 協働（いっしょに） 貢献（人のため）	1	お子さんを寄宿舍に入舎させてよかったと思いますか。	84.6%	0.0%	15.4%
	2	お子さんは寄宿舍での生活に充実感や満足感をもっていると思いますか。	76.9%	7.7%	15.4%
	3	寄宿舍は生活目標や指導計画をはっきり示していますか。	84.6%	0.0%	15.4%
	4	通信、連絡帳、懇談等で寄宿舍での様子やお子さんの成長の様子が伝わっていますか。	84.6%	0.0%	15.4%
	5	お子さんの進路や将来に関わる、生活に必要な情報が伝わっていますか。	84.6%	0.0%	15.4%
	6	寄宿舍の生活、児童生徒指導のあり方は適切だと思いますか。	76.9%	0.0%	23.1%
	7	<u>寄宿舍は人権・同和教育の推進に努めていると思いますか。</u>	<u>69.2%</u>	<u>7.7%</u>	<u>23.1%</u>
	8	行事等で、寄宿舍全体で協力して活動を実施していると思いますか。	76.9%	0.0%	23.1%
	9	お子さんは自分の思いや考えを、周囲へ伝えることができますか。	76.9%	7.7%	15.4%
	10	教職員は、お子さんや保護者さんの思いをしっかりと聞いていますか。	84.6%	0.0%	15.4%
	11	お子さんは食食をおいしく食べていると思いますか。	76.9%	7.7%	15.4%
	12	お子さんの怪我、病気等の緊急時に、寄宿舍の対応は適切になされていますか。	84.6%	0.0%	15.4%
	13	教職員はあいさつができていますか。	84.6%	0.0%	15.4%
意見欄	・日曜開舎の継続 ・連絡帳・保護者会での情報発信 ・子どもの課題解決に伴走する姿勢				